

# 福祉生活病院常任委員会資料

(平成22年9月15日)

〔件 名〕

- 1 中海・宍道湖ラムサール条約湿地登録5周年記念事業について  
(水・大気環境課)・・・1
- 2 持続可能な地下水利用検討事業に係る最終報告会の内容及び今後の予定について  
(水・大気環境課)・・・4
- 3 湖山池を巡る最近の動きについて  
(水・大気環境課)・・・7
- 4 「全国・鏝絵なまこ壁サミットinとっとり2010」の開催及び『息づく左官職人の技「鳥取県の鏝絵なまこ壁」』の刊行について  
(景観まちづくり課)・・・9
- 5 県営住宅白浜団地の突風被害について  
(住宅政策課)・・・10

生活環境部



# なかうみ しんせう 中海・宍道湖ラムサール条約湿地登録5周年記念事業について

( 島根県・鳥取県連携事業 )

平成22年9月15日  
水・大気環境課

中海・宍道湖が、それぞれラムサール条約湿地に登録(H17.11.8)されてから、本年11月で5年を迎える。これを記念して、島根県、鳥取県、中海周辺自治体(5市2町)、NPO及び地域住民等が連携し、世界的に貴重な財産である中海・宍道湖の豊かな自然とその恵みを、次世代へ引き継いでいくよう環境保全活動、賢明利用(ワイズユース)、交流・学習等を実施する。

## ◎ ラムサール条約湿地登録5周年記念事業

「次世代へつなぐ!豊かな中海・宍道湖」をテーマに、3本柱で事業を展開する。

区 分	開催時期	開催場所
記念展示 「中海・宍道湖を知る・学ぶ展」	9月29日(水)から 10月9日(土)まで	くにびきメッセ(松江市) (10/2(土)オープニングセレモニー) (9/29(水)~10/1(金)・小中学生を対象とした学習見学会)
シンポジウム・ミニ展示 「次世代へつなぐ豊かな恵み」	10月30日(土) 13:20~16:00	米子市文化ホール(米子市)
次世代を担う両県及び北東アジア のこどもたちの交流	10月8日(金)から 10月10日(日)まで	米子水鳥公園など中海及び宍道湖の拠点施設

### (1) 記念展示 「中海・宍道湖を知る、学ぶ展」

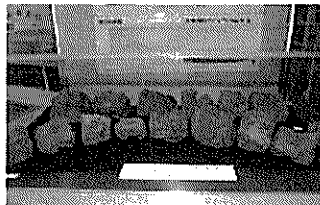
「中海・宍道湖に生息する生き物」の水槽展示のほか、「3Dミニシアター」や「中海・宍道湖の形成過程と歴史」など、分かりやすく展示解説する。

#### ①成り立ち

両湖の地形変遷と歴史紹介



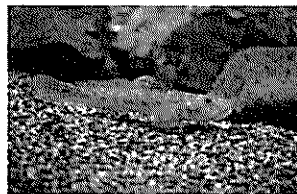
両湖の変遷



クジラの化石

#### ④両湖の生き物(水辺に出かけよう)

ミニ水族館や水鳥のはく製展示



ミニ水族館



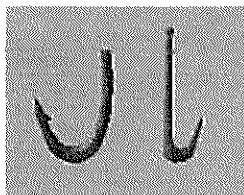
はく製

#### ②暮らし(食べ物編)

風土記時代の朝酌市場や周辺産物の出土品を紹介



風土記時代の朝酌市場



出土品(釣り針)

#### ⑤活動(両湖を守るために)

登録から5年間の活動と私たちにできることを紹介



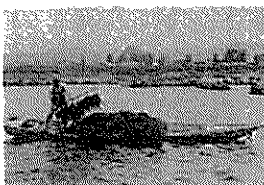
中海・宍道湖一斉清掃



ヨシ再生プロジェクト

#### ③暮らし(生活編)

50年前の水面下の様子と淀りり、漁具や漁法を紹介



中海での淀りり



漁具

#### ⑥市民作品

懐かしの写真や野鳥ポスターを掲示



明治大正時代の縁が島



平成21年度入賞作品

## (2) シンポジウム（ミニ展示を含む）【両県知事出席予定】

地域での環境保全活動やラムサール条約湿地を通じた両県と世界のこどもたちとの交流報告をはじめ、専門家の講演、両県にかかわりの深い著名人のトークショーなどを実施する。

また、次世代を担う両県のこどもたちが、合唱やミュージカルで参加し、今後の活動のあり方などを考える。

順	プログラム	概要
1	オープニング・映像	○中海・宍道湖の一日を幻想的な映像で紹介
2	オープニング・合唱	○鳥取のこどもたち 山陰少年少女合唱団「リトルフェニックス」
3	開会	○条約登録の経緯やシンポジウムの趣旨を説明
4	主催者あいさつ	○両県知事あいさつ
5	地域NPOの活動報告	○鳥取県、島根県2団体
6	こども国際交流報告	○日韓こども交流会(10/7-10/9)の概要報告 ○COP10・ラムサール関係国際会議の参加報告
7	著名人ビデオメッセージ	○両県ゆかりの著名人からのメッセージ紹介 ・向井 理(ゲゲゲの女房・しげる役) ・佐野史郎(島根県出身)

### 小休憩

8	記念講演	「水鳥に学ぶ、いのちのつながり」 (財)日本野鳥の会主任研究員 安西英明氏 ・NHK ラジオ「季節のいのち」出演 10年以上 ・日本初のウトナイ湖「チーフレンジャー」
9	トークショー 「未来の中海・宍道湖のために 一人一人が出来ること」	○登壇者(予定) ・吉田栄作(島根県・遣島使、NHK「だんだん」出演) ・松本若菜(鳥取・女優)
10	アトラクション ・ミュージカル	○島根のこどもたち 「あいと地球と競売人」
11	「未来の中海・宍道湖へのメッセージ」 ・こどもたちから未来へ	○こどもたちの代表のメッセージ(各県2名程度)
12	フィナーレ「記念斉唱」	○会場全員

## (3) 移動展示

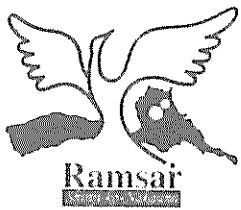
○鳥取県及び島根県内の事業所において、移動展示を実施する。

区分	展示場所	展示期間(予定)
島根県	松江サティ	9/18(土)～9/25(土)
鳥取県	米子鬼太郎空港ビル	10/2(土)～10/17(日)
	ジャスコ日吉津店	10/19(火)～10/29(金)

○国、中海市長会、各市町、米子水鳥公園、ゴビウス等が実施される事業についても、5周年記念関連事業としてPRする。

実施機関	イベント名	開催期間	開催場所
島根県立美術館	企画展「山陰風景」	6/16～7/19	島根県立美術館
	企画展「水とともに」	8/18～11/29	
一畑電鉄(株)	みちくさウォーク	7/19、8/21	宍道湖周辺
環境省	中海子どもパークレンジャー	7/22～7/24	米子水鳥公園
中海市長会	中海子ども探検クルーズ	7/28	中海一周・発着は八束町
鳥取大学等	大山・日野川・中海学協会セミナー	10/9、10/30、 11/13、11/20	鳥取大学医学部
米子水鳥公園	湖の夕日の写真展	9/20～10/15	米子水鳥公園
	さおを作ってゴスを釣ろう	10/24	米子水鳥公園
島根県・ホシザ キグリーン財団	KODOMO ラムサール探偵団	7/24、 10.11.1月中旬	宍道湖周辺
	環境学習プログラム	随時	ゴビウス
	宍道湖ぐるっと1周バスツアー	11月中旬	宍道湖周辺
	5周年記念特別展示	11/1～11/30	ゴビウス

◎協賛団体を依頼中・・・当該事業の応援団として、趣旨説明し賛同を依頼中(両県で200社程度に依頼中)



ラムサール条約登録 5周年記念

両会場とも  
**入場無料**

次世代へつなぐ! 豊かな中海・宍道湖

5th



松江会場

米子会場

記念展示

中海・宍道湖を知る、学ぶ展

日時 **10.2(土)・9(土)**

10:00~16:00(2日~3日/17:00まで、9日/15:00まで)

会場 **くにびきメッセ** (多目的ホール)  
松江市学園南1丁目2番1号

- ◆中海・宍道湖のおいたち  
中海・宍道湖に思いをはせるとともに、両湖がどのようにできているかについて紹介
- ◆中海・宍道湖と私たちの暮らし(食べ物編)  
●道徳から出土した暮らしの道具  
●出雲国風土記記載の市場の様子
- ◆中海・宍道湖と私たちの暮らし(生活編)  
●50年前の水面下、魚種の変化、藻類/風景  
●漁具の展示、真直など湖と暮らしの関わり など
- ◆水辺に出かけよう!ふれあい体験(生物編)  
●水鳥、水生昆虫、魚などの観察スポット  
●水鳥のはく製 など
- ◆湖にもっと優しく!私たちにできることは?(活動編)  
●身近な生活でできることは? ●調べ学習の方法は?  
●登録から5年を振り返るコーナー  
●市民活動コーナー など
- ◆みんなの中海・みんなの宍道湖  
●つながしの写真コーナー  
●堂島遺陶ポスターコンクール  
「ラムサール特別賞」入賞作品

- 3Dミニシアター「みんなの中海・みんなの宍道湖」
- コピウス出張!「ミニ水族館」
- シンボルオブジェメッセージをみんなで作成!
- クイズラリー-クイズを当てて賞品をゲット!
- みんなが審査員!中海・宍道湖7診科理対決!

◆ワークショップ【2日(土)・3日(日)】  
●「しじみのお話」/中村幹雄氏(財)日本シジミ研究会)  
●「貝殻のレブリカづくり」/協力:米子水鳥公園

★10月2日(土)~9日(日)の毎日10:30、13:30の2日  
~先着100名に宍道湖のしじみをプレゼント!~

ホームページアドレス  
<http://ramsar-ns.jp>

記念シンポジウム

次世代へつなぐ 豊かな恵み

日時 **10.30(土)** 13:20~16:00

会場 **米子市文化ホール**  
米子市末広町293番地

- ◆記念講演  
「水鳥に学ぶ、いのちのつながり」  
講師:安西英明さん  
(財)日本野鳥の会主席研究員
- ◆トークショー:「一人ひとりができること」  
●松本石菜さん(女優・半井出身)  
●吉田栄作さん(俳優/歌手 NHK「なんたん」出演)

- ◆ミニステージ  
山崎少年少女合唱団「ソルフェージュ」  
ミュージカル「あいつと地球と執事さん」

- ◆こども国際交流報告  
◆中海・宍道湖の未来へのメッセージ  
◆「中海・宍道湖を知る学ぶ展」ミニ展示

移動展示  
●松江サティ 9月18日(土)~9月25日(土)  
●米子鬼太郎空港ビル 10月2日(土)~10月17日(日)  
●ジャスコ日吉津店 10月19日(火)~10月29日(金)

松江市環境フェスティバル(くにびきメッセ大展示場)  
10月9日(土) 10:00~15:00  
テーマ:「自然環境~生物多様性~」

主催:鳥獣保護法 鳥獣保護法 松江市 出雲市 安来市 出雲町 雲井町 米子市 松江市 後援:環境省中国四国地方環境事務所 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所  
TEL:0852-22-6377 鳥獣保護自然環境課 TEL:0857-26-7870 鳥獣保護・水鳥保護課水環境係室

# 持続可能な地下水利用検討事業に係る最終報告会の内容及び今後の予定について

平成22年9月15日

水・大気環境課

持続可能な地下水利用のあり方について検討するため、平成19年度から平成21年度まで鳥取平野と大山南西麓の地下水の貯留量や水収支の現状、地下水の流動機構の実態解明に向けた調査を鳥取大学と共同で行ったところです。

この共同研究で得られた成果について、先般、東部及び西部の会場で最終報告会を開催しましたので、その内容と今後の予定について、お知らせします。

## 1 最終報告会について

### (1) 東部会場

開催日 8月28日(土)

場 所 とりぎん文化会館

内 容 「鳥取平野における地下水の収支・動態について」  
発表者：鳥取大学大学院工学研究科 檜谷治教授

参加数 37名

### (2) 西部会場

開催日 8月28日(土)

場 所 米子コンベンションセンター

内 容 「大山南西麓における地下水の収支・動態について」  
発表者：鳥取大学大学院工学研究科 檜谷治教授

参加者 34名

### (3) 報告会での主なご意見

- ・どのように地下水が使用されているか把握するための制度検討を、情報を公開しながら進めていただきたい。
- ・企業進出や事業拡張の際の影響調査やモニタリング調査の仕組みを検討していただきたい。

## 2 今後の予定について

### (1) 持続可能な地下水利用に係る制度検討会の立ち上げ

#### ア 検討会の目的

限りある資源である地下水に関し、持続可能な利用に必要な方策について、行政関係者による検討を行う。

#### イ 検討内容

- ・鳥取県内の地下水の現況に関すること
- ・地下水利用状況に関すること
- ・持続可能な地下水利用のために必要な制度に関すること

### (2) スケジュール

今年度内に必要な方策について方向性を決め、そのための制度構築等を進めていく。

## 鳥取平野の研究成果の概要

- 鳥取平野には、少なくとも3層の地下水が存在する。そのうち1層の不圧地下水は、長期的に水位変動がなく、良好な状況である。一方、2層ある被圧地下水は、平均海水面の高さ以上にまで水位が回復している状況であり、現状では枯渇のおそれはない。
- 鳥取平野の地盤沈下は沈静化しているが、平野の北東部で被圧地下水の塩水化が観測されている。これは、深部地下水の影響であると考えられるが、現在、塩分濃度の上昇は収まっている。
- 持続可能な地下水の利用に向けて、地下水利用の現状を把握し、塩水化の推移について監視していく必要がある。

### (1) 滞水層の数

滞水層は鉛直方向に少なくとも3層(①、③、⑤)存在する。

### (2) 水収支

地下水のくみ上げ量が比較的正確である平成2年と平成17年の状況をもとに地下水位の変動を再現する流動解析を行った。

その結果、現在の地下水の利用は、平野内で1日約1万 $m^3$ であり、このうち7,000 $m^3$ /日が被圧地下水である図⑤からくみ上げられている。残る3,000 $m^3$ /日が不圧地下水の図①若しくは被圧地下水の図③からくみ上げられていると推測された。

地下水の現状は、水位変動から見ると不圧地下水は長期的に変動がなく、安定した状態であり、また、被圧地下水は、平均海水面の高さ以上にまで水位が回復しているので、現状のくみ上げ量を継続することに問題はない。

地下水の供給は、不圧地下水の場合、千代川、袋川、新袋川、大路川、有富川、野坂川の河床や田畑等の地面からの浸透が供給源となっている。

図③の被圧地下水では、千代川や袋川を除く千代川の支川と不圧滞水層からの浸透が供給源となっている。一方、図⑤の被圧地下水は、千代川、袋川、野坂川の河床が主な供給源であり、図③の被圧地下水からも供給されている。

### (3) 地盤沈下及び塩水化

昭和40年頃、図⑤の被圧地下水を過剰にくみ上げたことによって、上部に存在する2つの粘土層が圧密され、地盤沈下が発生したが、現在、この粘土層の圧密がほぼ終了し、地盤沈下は沈静化している。しかし、新たに平野の北東部で被圧地下水の塩水化が観測されている。塩水化の原因については、解析により海水ではない深部地下水の影響の可能性が高いことが推定された。現在の被圧地下水の水位は、平均海水面の高さ以上にまで回復し、塩分濃度の上昇も収まっているので、現状のくみ上げを継続することに問題はないと考えられる。

### (4) 今後の課題

- ・ 持続可能な地下水の利用に向けて、被圧地下水をくみ上げている井戸の情報を収集し、地下水利用の現状を把握する必要がある。
- ・ 塩水化の推移についても、監視していく必要がある。

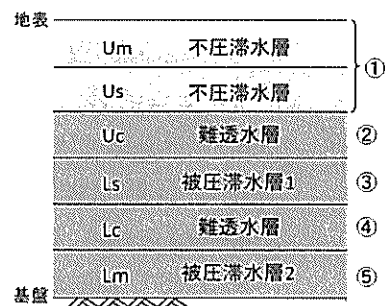


図 鳥取平野の地層のモデル

## 大山南西麓の研究成果の概要

- 大山南西麓の表層は、火山性堆積物で覆われ、浸透性が高い。このため、雨や雪などの降水量の10～20%が深層地下水に供給されている。
- 年間降水量を2,300mmとすると概算で深層地下水の全量は、4,400万立方メートルあると推測され、豊富な水量がある。
- 持続可能な地下水の利用に向けて、地下水利用の現状を把握したり、灌漑用水の実態や河川流量などを監視することを検討する必要がある。

### (1) 滞水層の数

大山南西麓の基盤は、河川源流部・上流部では浅く、中流域で深くなり、日野川合流付近で浅くなる傾向が見られる。この基盤上に、大山の火山性堆積物が堆積しており、鉛直方向に浸透性の高い地質である。

しかしながら、比較的細かい土砂が堆積している層や下層の火山性堆積物ほど、長い年月の圧密により、

浸透しにくくなっているものと考えられ、浸透性の違いによって地層の水平方向にも地下水が流れている。

全体的に浸透性の高い地層であるため、降雨のほとんどが地下に浸透し、浸透した地下水が浅層地下水を形成し、途中で湧水となって河川を形成している。この河川水量と水質を分析することによって、少なくとも5つの滞水層が存在することが判明した。

### (2) 水収支

この研究では、最終的に湧水となって河川を形成する浅層地下水とそれ以外の深層地下水の存在が確認できた。

深層地下水への供給量は、新期大山砕屑物層によって、流域ごとに浸透する割合が異なっているが、年間降水量の10～20%が深層地下水へ供給されていると推測された。

この深層地下水の供給量は、年間降水量を2,300mmとし、そのうちの約13%（別所川と船谷川の浸透率の平均）が深層地下水へと供給されると仮定すると、俣野川流域を含む大山南西麓全体で深層地下水への供給量は年間約4,400万 $m^3$ となる。江府町や伯耆町に立地する地下水利用事業所の深層地下水のくみ上げ量（年間約100万 $m^3$ ）は、この試算を基にすると流域の深層地下水の10%未満を利用していることになる。

深層地下水のくみ上げ量が相対的に少ないため、現在のところ浅層地下水を利用している簡易水道や河川流量に影響は生じていない。

### (3) 今後の課題

- ・ 持続可能な地下水の利用に向けて、地下水を利用している井戸の情報を収集し、地下水利用の現状の把握に努めること
- ・ 灌漑用水の実態や河川流量を含めて監視に努めること

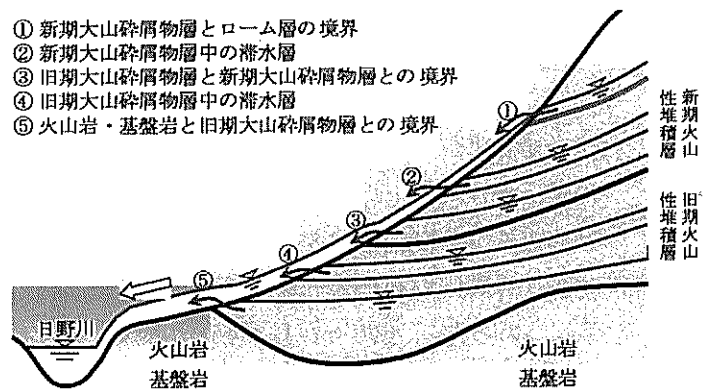


図 大山南西麓における地層のモデル

# 湖山池を巡る最近の動きについて

平成22年9月14日  
水・大気環境課  
河川課

## 1. 「湖山池会議」について

湖山池の望ましい姿を検討するための、県・鳥取市の共同プロジェクトチームとして「湖山池会議」を発足させた。

### (1) 第1回湖山池会議 (H22. 6. 25開催)

- ①会議構成：深澤鳥取市副市長、河原県統轄監と県・鳥取市の関係部局長で構成
- ②概要：湖山池の将来ビジョンの策定に向け、市民協働推進ワーキング及び水質浄化・生態系ワーキングを設置し、検討作業を進めることをなどを決定

### (2) 第2回湖山池会議 (H22. 8. 11開催)

- 概要：次の事項等について協議
  - ・住民に対するアンケート内容や意見交換会の実施方法
  - ・湖山池の将来像パターンに応じたメリット・デメリットの検討及び水質浄化方策の取りまとめ
  - ・繁殖の著しいヒシ除去対策

### (3) 今後の予定

- 住民アンケートや意見交換会の実施
- 将来像パターンに関するメリット・デメリット整理と所要施策の整理
- 水質浄化施策の実施に向けた検討
- 湖山池の将来ビジョンの策定

## 2. 水質浄化対策等への取り組みについて

湖山池の水質浄化対策等については地域自立・活性化交付金事業（平成22年度より社会資本整備交付金の一部）により実施している。本年度の主な内容は次のとおり。

### ①湖内湖整備

- ・枝川からの流入箇所付近に湖内湖を設置する計画だったが、湖山池漁協との調整の結果、予定箇所付近が魚の産卵場所であること等の理由により、今年度の実施は見合わせることにし、浅場造成及びヒシ除去の区域拡大を図ることとした。

### ②浅場造成

- ・国土交通省（駈馳山バイパス）からの発生砂を受け入れ、施工区域を750mから1050mに拡大し、桂見地区、金沢地区、瀬地区を施工予定。

### ③ヒシ対策

- ・当初の約2.5haから約20haへ除去面積を拡大した。（詳細は次項）

## 3. ヒシ対策について

湖山池のヒシは近年拡大し60ha（湖山池約700haの8%強）を超える勢いとなったため、県では平成15年度から本格的にヒシ除去を実施し、流入河川の水脈を中心に年平均2.5ha程度を除去してきたが、本年度は梅雨明け以降連日猛暑日が続いたことから、例年以上に大規模なヒシ腐敗が進むと想定されるため、緊急的にヒシ除去の追加対策を実施中。（9月末完了予定）

### 《平成22年度のヒシ対策》

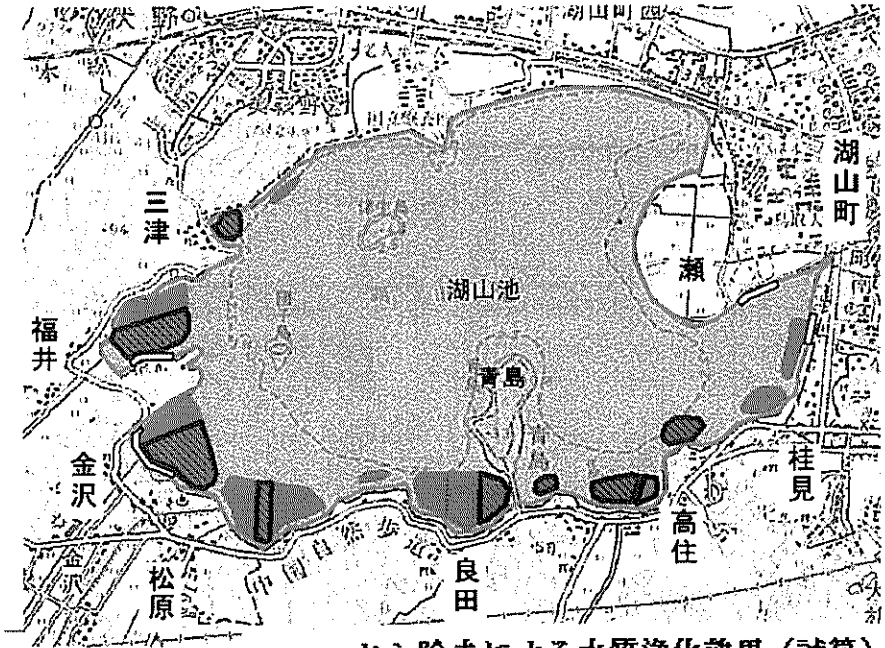
- 当初 ヒシ除去面積 2.5ha、除去量 約50トン（チェーンを用いた除去）
- 追加 ヒシ除去面積 7.5ha、除去量 約150トン（チェーンを用いた除去）  
ヒシ除去面積 10.0ha、除去量 約200トン（専用機械を用いた除去）

合計 20ha（ヒシ繁茂面積の1/3相当）

なお、鳥取市においても別途ヒシを除去予定



# H22水質対策等への取り組み状況



凡例

(ヒシ対策)

- ヒシの繁茂範囲(約60ha) (H22.7.2現地調査)
- ▨ ヒシ対策予定範囲
- ⋯ ヒシ対策予定範囲 \* 幼少期除去(試験施工)
- ヒシ対策予定範囲 (鳥取市施工)

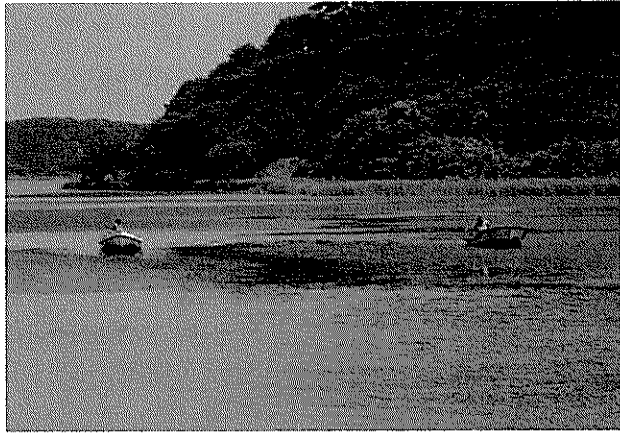
(浅場造成)

- 浅場造成施工予定範囲

## ヒシ除去による水質浄化効果 (試算)

ヒシの栄養塩含有量		20ha当たり
窒素含有量	3.00(g/m <sup>2</sup> )*	600kg
リン含有量	0.42(g/m <sup>2</sup> )*	84kg

\* 県衛生研究所報第39号 1999

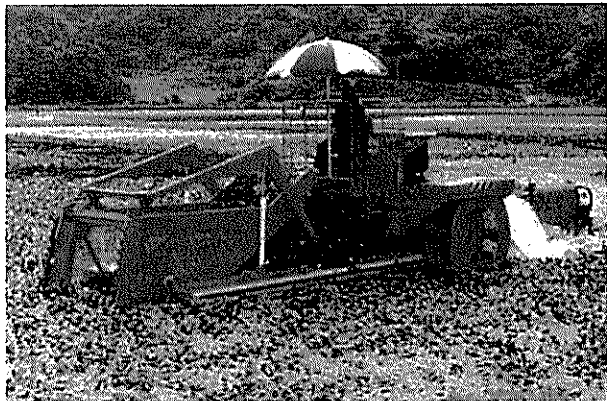


\* 漁船2隻で1本のチェーンを引いて除去



\* 陸揚げの状況

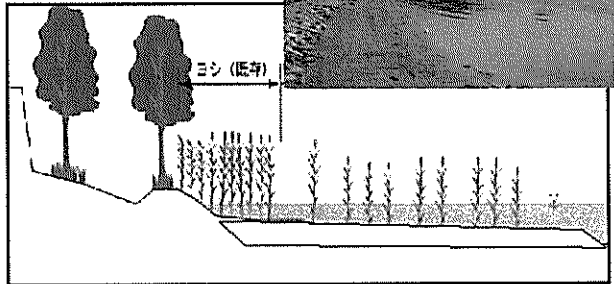
<平成21年度の湖山池のヒシの除去作業の様子>



\* 専用機械によるヒシの除去作業

<他県の事例>

浅場造成施工例→  
(平成21年度施工)



<浅場造成の模式図及び施工例>

「全国<sup>こてえ</sup>鏝絵・なまこ壁サミットinとっとり2010」の開催及び  
『息づく左官職人の技「鳥取県の鏝絵なまこ壁」』の刊行について

平成22年9月15日  
景観まちづくり課

I 「全国・鏝絵なまこ壁サミットinとっとり2010」の開催について

1 目的

県内に存在する豊富な「鏝絵となまこ壁」をとおして、鳥取県の隠れた地域資産や左官文化、「日本（山陰）の美」について考察を深め、これらを全国に情報発信することにより、鳥取における「鏝絵なまこ壁文化の拠点づくり」を目指す。

2 概要

(1) 日時

平成22年11月6日(土) 13時30分～17時30分【全国フォーラム】 18時～20時【交流会】  
平成22年11月7日(日) 9時～17時 【見学ツアー】

(2) 会場

倉吉未来中心(大ホール) 【全国フォーラム】  
ホテルセントパレス倉吉 【交流会】

(3) 主催/鏝絵なまこ壁文化推進協議会

共催/鳥取県、鳥取市、倉吉市、琴浦町、大山町、八頭町、鳥取大学地域学部、  
(社)鳥取県左官業協同組合

協賛/(社)日本建築学会中国支部鳥取支所

後援/鳥取県教育委員会、(社)日本左官業組合連合会、(社)鳥取県建築士会  
(社)鳥取県建築士事務所協会、(社)鳥取県木造住宅推進協議会

3 内容

【第1日目】全国フォーラム「左官職人の技と左官文化」

(1) 基調講演

「職人のワザによるまちづくり」

講師 石山修武氏 (建築家、早稲田大学理工学部教授)

(2) 地域からの報告

「鏝絵なまこ壁でまちづくりを」

①静岡県松崎町 ②大分県安心院 ③富山県小杉町  
④広島県広島市 ⑤鳥根県大田市 ⑥鳥取県

(3) 鼎談

○ 石山修武 (建築家、早稲田大学理工学部教授)

○ 藤田洋三 (写真家、大分を拠点に全国の鏝絵などを撮影・取材)

○ 挾土秀平 (左官職人、土にこだわる壁作りを目指す)

○ 五島朋子 (鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授)「司会進行」

(4) 交流会

郷土文化芸能(壁塗りさんご節)、郷土の豊かな食と地酒など

【第2日目】見学ツアー「とっとり蔵リズムの実践」

(1) 東コース：鳥取市鹿野町や八頭町の「鏝絵なまこ壁」を巡るコース

(2) 西コース：大山北麓の「鏝絵なまこ壁」を巡るコース

II 『息づく左官職人の技「鳥取県の鏝絵なまこ壁」』の刊行について

1 目的

県内に埋もれている地域資源である鏝絵なまこ壁を発掘し、その魅力を県内外に伝え、地域の活性化に繋げると共に伝統技能の継承に繋げる。

2 経緯

鳥取県は、平成21年5月に「鳥取の鏝絵なまこ壁研究委員会」を設置し、県内の鏝絵なまこ壁の素材の発掘及びリストの作成を行ってきた。

当委員会では、平成19年以降に収集してきた鳥取県内の魅力的な鏝絵やなまこ壁の事例300件の中から、「鳥取を代表する鏝絵なまこ壁」東部地域：55件、中部地域46件、西部地域59件の合計160件を選定し概要及び写真を掲載。

3 販売

定価1,800円(県内書店で販売中)

4 発行

鏝絵なまこ壁文化推進協議会

5 企画

生活環境部景観まちづくり課

# 県営住宅白浜団地の突風被害について

平成22年9月15日  
くらしの安心局住宅政策課

## 1 被害の発生状況

- (1) 被災日時 平成22年8月30日(火)午後3時頃
- (2) 被災場所 県営住宅白浜団地(鳥取市湖山町西三丁目)
- (3) 人的被害 なし
- (4) 被害状況
  - ・白浜団地に隣接する会社の資材倉庫の屋根(仮設資材で組み立てられた簡易なもの)が突風で飛び、バラバラになった鉄製部材が白浜団地を直撃。
  - ・住宅20戸のうちの9戸で、屋根瓦、外壁、窓ガラスが破損し、その内3戸は屋根、外壁に穴があくなどの被害が発生。
  - ・敷地内に駐車中の入居者の自家用車4台も破損した。
- (5) 被害額(概算) ・4,000千円(住宅被害のみ)

## 2 資材倉庫を管理する会社

株式会社サンケン鳥取営業所(建設資材リース) 本社:岡山市  
鳥取市湖山町西三丁目111-4

## 3 復旧対応について

- (1) 緊急対応が必要な窓ガラス、瓦、外部建具の修繕については、県が指示し修繕は完了。
- (2) その他の本格的な復旧工事については、9月下旬完了予定。

## 4 鳥取地方气象台による突風の原因の調査結果

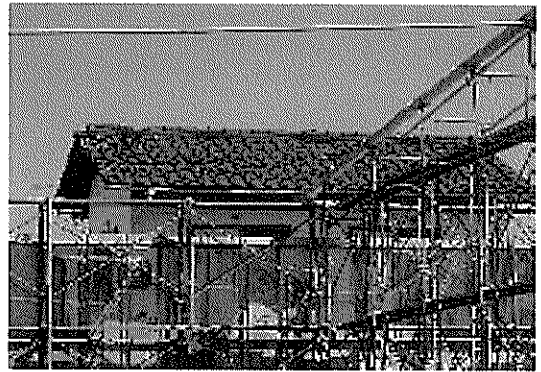
- (1) この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高い。
- (2) 突風の強さはF0(納屋の屋根が飛ぶ程度)と推定されている。

## 5 今後の対応方針について

- (1) (株)サンケンの責任において、早急に復旧工事を終了させることを求めるとともに、入居者の個人的な被害についても誠意を持って対応するよう要請。
- (2) (1)の要請に対し(株)サンケンに了解を得た。(詳細については、協議を継続)

【参考】被害状況 別紙のとおり

県営住宅白浜団地の被害状況  
8月30日の状況



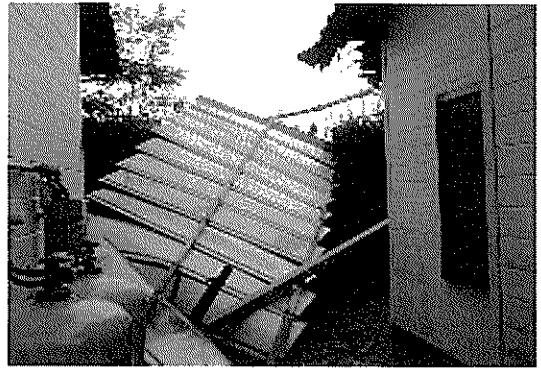
隣地(資材リース会社)から見る被災住宅



乗用車に突き刺さった資材



室内にまで飛び込んだ資材

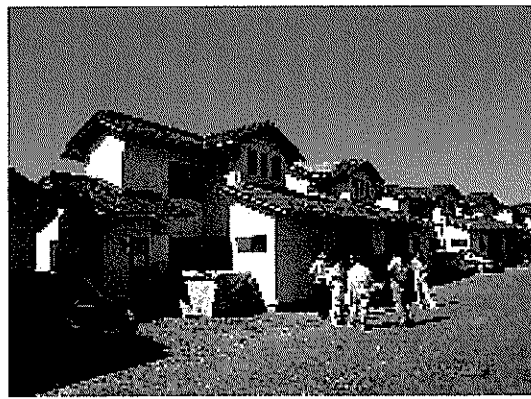


めくれあがった資材置き場の屋根

8月31日の状況



昨夜のうちに屋根、壁の被災部分は応急措置を行った。



資材置き場の屋根は全て撤去されていた